

名古屋市立高木小学校での出前講座実施報告



名古屋自然保護官事務所は、7月5日に名古屋市立高木小学校にて出前講座を実施しました。

高木小学校の4年生3クラスを対象に、藤前干潟の生き物と環境について知ることを目的として、出前講座を行いました。

講座の内容は、主に藤前干潟の環境とそこに生息する多様な生物の紹介で、シジミを用いた水質浄化実験も実施しました。

藤前干潟の環境については、写真やイラストを用いて紹介し、潮の干満によって干出、冠水を繰り返す特殊な環境であることを説明しました。また、大都市近郊に広大な干潟が存在することは珍しく、藤前干潟の希少性も伝えました。

次に、干潟の泥を持参して触れてもらいました。皆さんは、泥の感触や匂いを確かめ、干潟が川と海の接点に存在することを実感している様子でした。

藤前干潟に住む生き物については、持参したカニや貝類に触れてもらい、各々の生態や特徴を説明しました。皆さんはカニや貝を手に取り、外部形態や動きの特徴を確認して楽しんでいる様子でした。

シジミを用いた水質浄化実験では、シジミが水中に溶け込んでいる有機物を餌として摂食しており、水質の浄化に寄与していることを知ってもらいました。

藤前干潟におけるゴミ問題に関しては、川や海からゴミが藤前干潟にたくさん流れ着き、干潟に住む生き物に影響を与えていることを紹介しました。皆さんは、藤前干潟に流れ着くゴミの量を見て大変驚いている様子でした。

藤前干潟にたくさんの生き物が住んでいることを知って、「干潟に行ってみたい!」という声がたくさん聞こえてきました。藤前干潟は高木小学校からも近いので、遊びに来て下さいね。



シジミの浄化実験の様子



◆実施概要◆

実施日：平成 25 年 7 月 5 日（金） 9:40～12:20

場所：名古屋市立高木小学校（港区）

対象：小学校4年生（3クラス、計 92名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員 2名

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
1.	「ひがた」ってなに？ ・何からできているのか、どこにあるのか？ ・干潟のしくみ
2.	干潟には生き物がいっぱい ・貝類、カニ類、鳥類の紹介 (シジミの浄化実験)
3.	生き物がたいへん！ ・ゴミの被害者 ・干潟に流れ着くたくさんのゴミ



講義の様子

2013年7月5日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 上野 淳一